
 *
 *
 * 千 石 会 だ よ り *
 *
 *

No. 1号 昭和59年5月発行

目 次	
◎千石会（大阪大学事務職員退職者親睦会）設立経過について	1
◎千石会発会式及び第1回総会記	2
◎第2回総会記	4
◎計報	5
◎会員消息	5
◎大学の事情	11

◎千石会（大阪大学事務職員退職者親睦会）設立経過について
 大阪大学も設置以来50年を経過した今日、大学運営の陰の力となって半生を尽くして来た事務職員退職者に関しては、大学事務当局者も次々と移り替り忘れられた存在となることはなげかわしいことなので何らかの連帯組織を作ること望む声が生まれた。

昭和56年春頃より志のある者が寄り集まり話し合いの後昭和56年9月12日医学部会議室に大学各部署の退職者のうちから1人宛集まり協議することになった。これらの者が発起人になり会組織について

1. 会員の範囲
2. 会則の作成
3. 会費の額

4. 会運営の事務

5. 会の名称

等が話し合われた。

この会合の結果をもって当時の大阪大学の中西貞夫事務局長に池田辰治、池田正信、森徳一の三名が面会し協力方を依頼したところ賛意を表され、会員の範囲を拡大するよう示唆を受け、会則も他の大学の実情を調査することを約され、総会場も明年完成する食堂を使用するよう申し出を受け意を強くした次第であった。

会則については、当方の案について当時の古川浩資庶務課長補佐、城戸廣司文書掛長が検討の上原案の作成、印刷を担当してくださった。

会員予定者の名簿作成については、連絡、入会勧誘に欠くことのできないものであるところから発起人全員が協力して該当者の大学退職、転任後の所在の確認作業を行ったが、幸いに阪大五十周年記念式のために作成された名簿があったため順調に進めることができた。取敢えず会則第4条の第1号会員のみで発会式及び第1回の総会を開催することになった。然るに中西事務局長が残念ながら筑波大学事務局長に栄転された。後任に水村博昭事務局長が来られたので協力方を依頼したところ同局長は先だつての文部省の会合において柳川局長から退職者の処遇についての話もあるので強力に会の結成を推進するよう励まされた。

因に発起人は次のとおりである。

(五十音順)

池田辰治	池田正信	大谷友正
川島忠治	粕谷利雄	大白井茂太郎
田中喜彦	谷村定雄	樽井保男
筒井美治	辻忠男	豊永実
福岡博一	松野善治	森徳一

◎千石会発会式及び第1回総会記

昭和57年5月29日午前11時より大阪大学本部4階会議室において大阪大学退職者事務職員懇談会の発会式が池田辰治司

会の下に開かれた。

先ず発起人代表として池田正信挨拶の後議事に入る。

1. 会名を挙手により「千石会」と決定
2. 会則は配布の案について池田正信から説明、原案通り異義なく決定した。
3. 役員を選定については、発起人をそれぞれの役に充てることに決定した。

次いで辻忠男から会長就任の挨拶があり、閉会した。

引続いて午後0時30分より新設の職員食堂2階ホールに移り、大阪大学現職員（賛助会員）22名も加わり、第1回総会が開かれた。

池田辰治司会の下、先ず辻忠男会長挨拶の後、大阪大学代表として水村事務局長挨拶、次いで田中喜彦氏の発声で乾杯し宴に入る。

大学退職以来逢っていない者同志、久し振り顔を合わせた者、逢うことがあっても共に飲食してゆっくりと話し合ったことのない人達が和気あいあいの中思い出話に花を咲かせるやら健康状態や家族状況について、また事務局長をはじめ現職の方々には大学の近況や将来について話し合い何時果てるとも知れない盛会であらためて千石会設立の意味があったことを知らされた。

この会を開くについて種々の御配慮とお世話をいただいた局長はじめ事務局の皆様に対し紙上を以て厚く御礼申し上げます。次第であります。

第1回総会の出席者は次の通りである。

(五十音順)

相田行雄	池田辰治	池田正信
池辺正吉	榎本武夫	大賀郁夫
岡本真三	奥山元春	粕谷利雄
金沢実	上条一太郎	河井義夫
川崎一雄	川島忠治	黒田新政
黒田富次郎	阪森郁次郎	定延政
沢田吉次	白井茂太郎	杉本

高 樽 徳 中 藤 三 山	島 井 田 西 井 隅 本	威 保 定 光 和 政	夫 男 吉 造 夫 隆 雄	田 辻 豊 橋 松 本 吉	中 永 本 野 山 川	喜 忠 和 善 隆 終	彦 男 実 郎 治 明 治 郎	谷 筒 直 福 松 森	村 井 木 岡 本	定 美 一 博 孝 徳	雄 治 郎 一 信 一
---------------------------------	---------------------------------	----------------------------	---------------------------------	---------------------------------	----------------------------	----------------------------	--------------------------------------	----------------------------	-----------------------	----------------------------	----------------------------

20
41/30

◎第2回総会記

昭和58年6月9日(木)16時法学部第15番講義室に会員49名が遠く関東、東京、九州から参集し、引続いて待兼山会館で開かれた懇親会には、賛助会員の大阪大学現職員も参加して2階の広間も溢れるばかりである。上司、部下、本部、部局の区別もなく懐旧談に花を咲かせ、身辺の近況やら、感想の開陳に会場の熱気は盛り上がるばかりで一同歡を尽くして閉会した。

参集会員は次の通りである。

(五十音順)

相 池 石 榎 越 河 川 小 白 谷 辻 西 福 松 宮	田 田 塚 本 智 井 島 西 井 村 尾 井 下 本	行 辰 龍 武 義 忠 茂 定 忠 清 弁	雄 治 進 夫 宏 夫 治 勇 郎 雄 男 郎 博 二 長	東 池 伊 大 粕 川 木 佐 定 高 樽 豊 橋 福 松 村	田 藤 賀 谷 崎 木 延 島 井 永 本 岡 野 上	義 正 武 郁 利 一 三 政 威 保 和 博 善	一 信 夫 夫 雄 雄 男 治 夫 男 實 郎 一 治 昭	荒 池 浦 大 金 川 郡 沢 田 辻 直 針 細 三 森	木 辺 谷 谷 沢 崎 田 中 木 貝 井 隅	信 正 須 友 滋 軍 吉 喜 一 信 房 徳	義 吉 江 正 実 子 二 次 彦 清 郎 吉 夫 隆 一
---	--	---	---	--	--	---	---	---	--	--	---

山 野 三 重 子	山 本 政 雄	吉 川 終 治 郎
山 中 弘		
(賛助会員)		(順不同)
中 村 誠	馬 場 章	小 西 敏 男
箸尾谷 孝 一	栄 田 仁	竹 綱 修 二
阪 本 重 男	根 来 勲	長 田 和 信
加 藤 至 朗	中 西 共 平	

◎ 訃報

轟木芳樹 (元産業科学研究所事務長補佐)

昭和57年7月20日死去 同21日11時告別式

(遺族 豊中市東豊中町5-2 轟木昇様)

小田清武 (元産業科学研究所事務長)

昭和58年1月26日死去 同27日15時告別式

(遺族 堺市榎塚台2-12-9 小田陽一様)

樽井保男 (元経済学部事務長)

昭和59年1月9日死去 同10日12時告別式

(遺族 生駒市辻町881-32 樽井康員様)

正五位勲五等瑞宝章追賜

◎ 会員消息

相 田 行 雄 自宅で全国交通損害保険協会保険士の仕事をやっておられます。

荒 木 信 義 小生既に高齢78歳 喜寿を過ぎましたが幸いに元気です。阪大を36年8月に離れて早や23年を経ち往時を思い千里タウンに偉大な学舎の並んでいる光景に驚いています。諸兄の健康を願っています。

伊 倉 高 和 永年放置したままの家事の整理に当たっておりますが能率が上がりませんがそれでも結構楽しみながら毎日を追われています。

池 田 辰 治 微生物病研究所内財団法人癌研究会主事

池 田 正 信 学校法人奈良学園の奈良産業大学の開設

準備委員として努力していましたが漸く設置認可を受けましたので現在は自適の生活をおくっています。

石 塚 龍之進

国立大学協会事務局長

へボゴルフは止めまして俳句づくりに精進中、迷句連発約千句となりました。

井 上 弥 作

高血圧症及び動脈硬化症のため療養中、但し床には臥せて居りません。

岩 田 亮 澄

大手前女子大学勤務

岩 見 史 朗

昨年因らずも心筋梗塞を患い約2ヶ月入院し、目下通院中です。次第に快方に向かっています。

大 賀 郁 夫

㈱経済設備設計勤務

大 本 幹 一

毎日好きなように気楽に過ごしています。

越 智 宏

十文字学園女子短期大学事務局長

角 田 英 夫

兵庫医科大学勤務

影 山 久 生

八千代松陰学園大学設置準備室事務次長
昨年12月1日付けで永い公務員生活を勸奨退職致し現在八千代松陰学園大学設置準備室に勤務しています。その間阪大勤務4年間心からお世話になり感謝に堪えません上京の折りには総武線本八幡駅下車徒歩10分ぜひお立ち寄り下さい。

川 崎 一 雄

京大附属図書館整理課勤務

川 崎 滋 子

少々機械がさびついて来ましたのか膝が痛くて悩まされておりますが好きなお茶、生花、俳句でボケの防止につとめております。

木 佐 木 三 男

大阪芸術大学附属大阪美術専門学校に勤務しております。男（小生）1人と女3人の世帯で経理関係以外全てを仕事としています。学生募集、就職斡旋、カリキュラムの一切、その他全部です。しんどいです。

の生活を味わって居ります。

杉 本 卓
高 師 嘉 一
辰 巳 光 三 郎

有限会社杉本商事勤務
京大病院内財団法人和進会理事長
毎日元気にて岐阜歯科大に務めておりま
す。

田 中 新 一

三重大学附属病院内財団法人三翠会常務
理事

現役を去るとこれほどまでに心身ともに
楽になるとは思っていませんでした。財団
法人三翠会でいままでおつき合いしたこと
のない人々とおつき合いしていますがすば
らしい人々です。大学の人々とも相変わら
ずおつき合いしています。ますます健康で
す。

谷 村 定 雄
辻 清

三和電気土木工事株式会社勤務
関西地区大学セミナーハウス常務理事、
事務局長

セミナーハウスに勤務以来ほぼ1年が経
過しました。三木市に家が出来少しは落ち
着いて参りました。

辻 井 忠 男
筒 美 治

財団法人阪大微生物病研究会勤務
財団法人恵済団勤務

阪大病院内の恵済団へ毎日出勤しており
ます。健康状態は医者のお世話になりながら
まずまずです。

徳 田 定 吉
豊 永 実
直 木 一 郎

社会福祉法人宝山寺福祉事業団勤務
兵庫医科大学理事

相変わらず晴歩雨蟄、的なき生活を送っ
ております。身体の方は幸い環境に適應す
るようになっておりますので喜んでおりま
す。

中 西 光 造

医療法人皓歯会阪急グランドビル診療所
勤務

- 岸 本 修 二 大阪文化服装学院勤務
ボケないように心身を働かせています。
ギャルたちに教えたり、カルチャーで漢詩
を勉強したり、少しオーバー気味で頑張っ
ています。
- 黒 田 新 次 京都老人大学鳳寿会副会長（無給奉仕）
現在阪大病院に入院中です。
- 黒 田 富次郎 本年4月2日六興電気株式会社顧問を退
職6月4日出発にて当分パリに滞在します。
- 古 賀 亀太郎 古稀も遠く過ぎましたが今だに元気で毎
日をたのしく生きています。
- 小 西 勇 やはり年のせいでしょうか、今年1月か
ら腰痛で悩んでいます元気で働いていま
す。年1回遠出の旅が楽しみです。
- 斉 藤 寛治郎 皆々様に御無沙汰いたしております。相
変わらず動き廻わされておる昨今です。育
英制度も云々されておりますが拡充発展の
道を歩むよう微力を尽くしております。（
日本育英会理事）
- 斉 藤 良 夫 株式会社大林組営業部3部勤務
現在病気のため通院して居ります。
- 定 延 政 治 浅海電気株式会社勤務
佐 藤 信 茂 産業医科大学（医療技術短大）助教授
歳月のたつのははやいもので今年は妻子
の十三回忌、当時は大変御迷惑をおかけし
ましたがお陰様で元気に教壇生活を送っ
ております。
産業医大のキャンパスも丘や池があり白
鳥も泳いでいますので折りにふれて待兼山
キャンパスのたたずまいをなつかしく思い
出しています。
- 柴 田 直 弘 連休は毎年の事ながら畑を起こして元気
です。今年は暖かいので楽しみながら田舎

- 中 村 新 一 武蔵大学専務理事
そろそろ後進に道を譲り大阪に隠棲する
つもりです。皆さんの仲間に入ることを楽
しみにしています。
- 西 尾 金次郎 通院は三年越しになります。元気に暮
らしています。一度行きたいと思っていま
す。
- 西 尾 清一郎 医療法人明和病院顧問（非常勤）
針 貝 信吉 私立大学懇話会事務局長
春 田 実次 昭和56.8.1から佐賀医科大学病院財団
法人栄仁会常務理事として勤めています。
佐賀は私の故郷でしたので最後の御奉公と
思って財団の設立から今日まで頑張ってい
ます。これも阪大病院に勤めたことと恵済
団理事長を2年間した実績によるもので今
更ながら阪大に勤めた事が私の将来にこん
なに役立つことが出来ました喜んでおりま
す。
- 馬 場 幸 男 日本化成株式会社
久 綱 忠 夫 帝国女子大学学生課長
小生相変わらず、山、スキー、テニス、
ソフトなどスポーツを楽しんでいます。
- 藤 井 和 夫 武庫川女子大学勤務
細 井 房 夫 その後ごぶさたしています。去る56年阪
大50周年記念式に参上しましたが石橋地区
は始めて（退職以来）です久しぶりにみな
さんにお会いしたくて伺いたいと思います。
- 増 田 正 信 小生こと知らぬ間に70歳の爺さんになり
ました。今は家内と二人きりの生活です。
それでも雑用やら遊びやらで結構忙しく余
暇があまりありません。
- 松 野 善 治 財団法人恵済団勤務
松 本 孝 信 胃腸病のため治療中です。

- 三 隅 隆 財団法人蛋白質研究奨励会勤務
見 波 萬次郎 不二熱学工業株式会社顧問
宮 本 長 緑内障で三年前に手術し右眼は $\frac{1}{4}$ 程度し
か視力がありません。その他先ず丈夫な方
でしょうね。
- 本 山 隆 明 51年来の痛風で足腰が良かったり悪かっ
たりです。寺坂、小田君も亡くなり小生一
人となりました。
- 森 賀 進 農漁に精を出しています。
山 中 弘 学校法人大阪工業大学参与、評議員
元気で大阪工業大学法人本部で追い廻さ
れています。民は官と違って大変です。国
立の常識を捨てて生まれかわらざるを得ま
せん。しかし4年目！随分馴れました。た
だ仕事が前向きの仕事でやりがいがあるの
が何よりです。当分頑張ります。
- 山 野 三重子 退職から八年が過ぎました。この頃では
不安が先にたちまして好きな一人旅も出来
なくなりました。齢を重ねたせいでしょう
か傷めまじた足も幸い元通りになりました。
相変わらず月三日ではございますがいけ花
の指導に奉仕しております。生き甲斐とで
ももうしますか若い人に囲まれて楽しい時
間を持って居ります。
- 山 元 省 介 鹿児島女子大学図書課長
吉 川 終治郎 昨年未だに阪大病院に入院し新年早々（6
日）手の手術をしました。大分良くなり目
下リハビリに（箕面市民病院）に通って
おります。身体は異状ありません。

（編者注）

本会員消息は昨年（昭和58年5月）第2回総会の通知に對する回答の通信欄より殆ど原文のままですが一部編者におい

て取捨書替えをいたしました悪しからず御諒承ください。

文中昨年とか今年とかあるのは昭和57年、昭和58年と読み替えてください。なお、勤務先は入会申込の際のものを記しました。

なお、本たより全文中会員氏名には敬称を略させていただきました悪しからず御諒承ください。

◎大学の事情

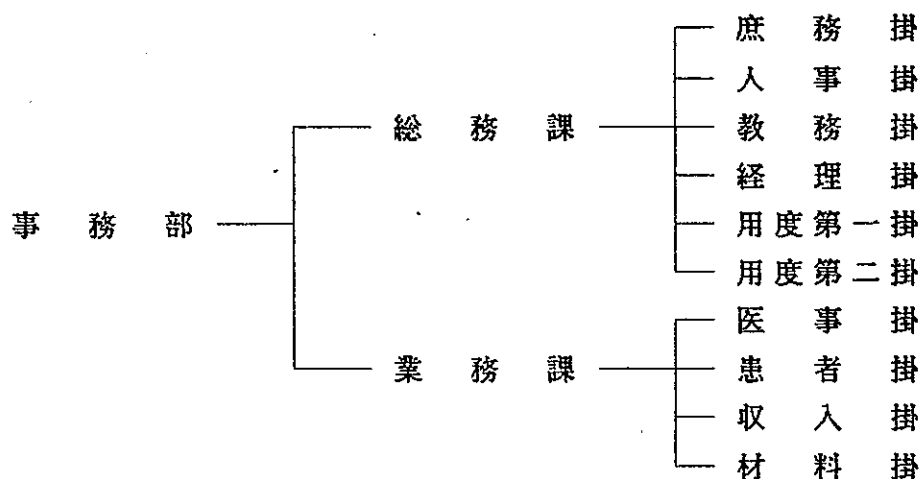
○大阪大学昭和58年事情

○歯学部及び同附属病院の移転

歯学部及び同附属病院の吹田キャンパス新学舎完成に伴い、去る7月11日から移転を始めていたが8月1日から病院の診療が開始された。

新学舎は4階建（一部5階）で延べ25,150㎡「□」の字型になっており、西、南棟が病院、東、北棟が学部及びラウンジ、ホールなどがある記念館である。

なお、移転に先立ち6月1日歯学部事務分課規程及び同事務部事務分掌規定が制定され、4月1日から適用された。その構成は次のとおりである。



事務部長に、飯田和男が基礎工学部事務長から昇任、総務課長に土田政信が東北大学抗酸菌病研究所管理課長から、業務課長に玉田実がレーザー核融合研究センター事務長から配置換えになった。

○ 附属図書館に学術情報掛増設

附属図書館事務部分課規程及び同事務分掌規程の一部が6月16日から改正、4月1日から適用され、整理課に学術情報掛が置かれた。

○ 蛋白質研究所創設25周年記念行事挙

創設25周年を迎えた蛋白質研究所では、5月20日に記念式典及びパーティー（於新阪急ホテル）を、翌21日に記念学術講演会及び創設以来の在籍者による同窓会祝賀パーティー（於北千里駅ターミナルビル）を催した。

○ レーザー核融合研究センター創立10年、慣性核融合実験棟竣工披露記念式典挙

レーザー核融合研究センターの創立10周年と慣性核融合実験棟竣工、激光号ガラスレーザー完成披露を兼ね5月28日に記念式典と披露パーティーが行われ、翌5月29日に学術講演会が開かれた。

○ 総長選挙

山村雄一総長の任期が、昭和58年8月25日をもって満了するに伴い、総長選挙が行われた結果、山村雄一現総長が次期総長に再選された。

7月6日専任講師以上の教官によって予備選挙が行われ、有権者1,029名中626名が投票した結果、次の10名が選出された。

荒田吉明 伊藤富雄 金森順次郎 河村洋二郎 小泉光恵 齊藤晴男 三隅二不二 山田朝治 山中千代衛
山村雄一（五十音順）

本選挙は7月13日午後2時から中之島講堂で行われ、有権者専任教授452名中354名が出席、投票の結果、山村雄一現総長が過半数を得て総長候補者として選出され選挙に引続き開かれた評議会において、本選挙の結果に基づき総長候補者を選考した結果、山村現総長を次期総長候補者に決定された。

○ 薬学部事務部に事務長補佐を置く。

薬学部事務部組織規程の一部が10月19日から改正され

事務長補佐を置くことになり10月1日から適用された。